

9月

はとぐみだより



岐阜市大門町1番地 聖徳保育園

日中は夏の暑さが残っていますが、日暮れの早さに秋の到来を感じます。子どもたちは「自分で」という意欲が芽生えてきて「やってみよう」「試してみよう」という姿が見られるようになってきました。歩くことにも自信がついてきた子どもたちは、自分の足で歩く楽しさを知り、廊下や階段、園庭へと活発に動きまわっています。安全面に十分配慮し、子どもたちの意欲や好奇心を大切にしながら、楽しく生活していきたいと思います。

ねらい

- ◎気温の変化に留意し、一人一人の子どもの状態に応じて生活リズムを整え、元気に過ごせるようにする
- ◎保育士や友だちと好きな遊びを見つけ、身体を十分動かしてあそぶ



今月の予定



- 1日(火) 発育測定
すくすく親子教室
第2回保護者会委員会
- 5日(土) 園内外消毒
- 7日(月) 誕生児写真撮影
- 8日(火) すくすく親子教室
- 11日(金) 避難訓練
- 12日(土) 園内外消毒



- 15日(火) すくすく親子教室
- 16日(水) 誕生会
- 19日(土) 園内外消毒
- 21日(月) 敬老の日
- 22日(火) 国民の休日
- 23日(水) 秋分の日
- 26日(土) 園内外消毒
- 30日(水) 本堂参拝

足に合った靴選び

子どもたちは、活発に遊ぶようになり、散歩や戸外あそびが多くなってきます。乳幼児期には足の骨や土踏まずが形成される時期。足にぴったり合う靴を選びましょう。

合う靴の見極め方

- ① つま先に1cm程度ゆとりがあり、足の指が自由に動く
- ② 足になじんでいる
- ③ 靴の先がよく曲がる
- ④ 洗濯しやすい
- ⑤ かかとがしっかりしている



「自分で！」の気持ちを大切に

1歳を過ぎると、「自分でやりたい」という気持ちが育ってきますが、ズボンの片方の穴に両足を入れてしまったりパンツより先にズボンを履いてしまったりと、まだまだ失敗が多い時期でもあります。たとえ失敗してもまず「自分でできたね！」と認めましょう。正しい方法を伝えるのは、子どもの「自分でできた」という気持ちを満たしてからにしましょう。それが次へ挑戦の力になります。

地震 ～日頃の心得～

◎9月1日は防災の日。日常生活の中でほんの少し意識することが災害時への備えにつながります。

- 車のガソリンはいつも満タンに
- 携帯電話の充電を十分に
- 備蓄食を使う時は補充してから
- トイレトーパーやティッシュペーパー、水や茶は多めにストック
- ※非常用持ち出し袋は、年に一度の点検が推奨されています。



夏の疲れが出やすい時期です

水あそびを楽しんだ8月。9月に入り、まだまだ暑い日が続いていますが、子どもたちは元気にあそんでいます。その一方でエアコンのかけ過ぎで寝冷えをしたり、夏の疲れが見られたりするお子さんがいます。体力がなくなると、感染症にもかかりやすくなるため、園では戸外あそびを短時間にしたり、こまめに休息をとったりしながら、安定した生活リズムの中で健康的に過ごしていきたいと思います。



秋の彼岸

「暑さ寒さも彼岸まで」といいます。秋の彼岸を境に夏が遠のき、秋めいた気候に移り変わります。そして、秋の彼岸のちょうど真ん中に当たるのが「秋分の日」。この日に向けて日暮れもどんどん早まっていき、当日には昼と夜の長さがほぼ同じになります。残暑もあと一息です。



旬のリンゴで夏バテ解消

秋に旬を迎えるリンゴは、「一日一個のリンゴは医者をつぶさず」と言われるほど栄養価が高い食材です。ポリフェノールやペクチンが整腸を促し、免疫力も高める他、疲労回復や貧血予防などの効果も期待できます。皮にも栄養素が含まれているので、食欲がない時はリンゴを皮ごとすりおろして食べるといいでしょう。



子どもの姿



子どもたちは、「やってみたい」という気持ちが強くなり、大人やお兄ちゃんお姉ちゃんの真似をして、いろいろなことに挑戦する姿が見られるようになってきました。保育士が出席ブックを出すと、ちょこんと座り、どのシールにしようか選んで貼ったり、給食袋からコップを出して、得意げに笑ったりしています。お手伝いも大好きで、カバンの中身をかごに入れる時に、「どうぞ」とオムツを先生に渡したり、水筒を友だちの分もかごに片づけていたりしています。また、お話もたくさんしてくれるようになり、可愛い声があちこちから聞こえてきます。これからどんどん言葉が多くなっていく時期なので、子どもたち一人一人のつぶやきを受け止め、ゆったりとかかわっていききたいと思います。